

基本的な方針	成果指標	設定の考え方	現状値 平成 30 年度	目標値 令和 6 年度
1 市民の日常生活を支える生活交通網の構築	高齢者の公共交通に対する満足度(65歳以上の高齢者の満足・まあ満足と答えた人の割合)	利用しやすい公共交通を構築することで、交通弱者といわれる高齢者の満足度の向上	17%	25%
	高齢者の買い物、通院での公共交通利用割合	運行体系の見直しや新たな交通の導入、高齢者への利用者負担軽減策等による公共交通利用割合の増加	買い物 6% 通院 10%	買い物 10% 通院 15%
	路線バス年間利用者数	運行ルート、ダイヤ等の見直しや高齢者への利用者負担軽減策等による路線バス利用者数の増加	223,876 人	230,000 人
	ぐるっとバス年間利用者数	デマンド化等運行体系の見直しや利用促進による利用者数の増加	13,383 人	24,000 人
	まあーるバス年間利用者数	まあーるバスの利便性の向上による利用者数の増加	213,943 人	238,000 人
2 多様な公共交通の組み合わせによる、より効果的な公共交通網の再構築	公共交通の人口カバー率（ぐるっとバスも含む）	現状の公共交通に加え、住民主体の公共交通等、多様な交通体系を組み合わせ、効果的な交通網を再構築しながら、高い公共交通カバー率を維持	92%	92%
3 行政・市民・交通事業者等の連携・協働による、持続可能な公共交通の維持・確保	住民主体の地域コミュニティ交通の導入支援団体数と運行実施主体数	住民主体の取り組み支援と地域コミュニティ交通の確立	導入支援 — 団体 運行実施 1 組織	導入支援 10 団体 運行実施 2 組織
	協議会・ワークショップの開催	公共交通の利用推進や自家用車からの利用転換を促進（モビリティ・マネジメント）、意見交換の開催	—	各地域で開催
4 豊かな暮らしと観光交流のまちづくりに寄与する公共交通網の構築	まあーるバスの市外来訪者年間利用者数	観光施策との連携や、経路検索サイトの活用等、積極的な情報提供による利用者の増加	34,231 人	38,000 人
	スーパーはぎ号年間利用者数	観光施策との連携や、積極的な情報提供による利用者の増加	66,395 人	69,000 人
	交通系 ICカードの導入・利用促進	交通事業者へシステム導入促進と ICカードの利用促進	—	システム導入路線利用者数の 50%

## 令和 2 年度の主な取組

- ・利用しやすい車両（電動ステップ付車両）の導入
- ・バリアフリーに対応した新船の建造（萩海運株式会社）
- ・高齢者が利用しやすい運賃の助成
- ・接続が分かりやすい時刻表の作成
- ・路線廃止に伴う生活バスの運行、乗合タクシー事業の支援
- ・萩循環まあーるバスの運行ルートの検討
- ・鉄道、幹線バスとの結節に配慮した生活バスの運行
- ・（再掲）萩循環まあーるバスの運行ルートの検討
- ・山間部等の交通手段が少ない地域において、自家用有償旅客運送の登録を目指したモデル事業を支援
- ・（再掲）萩循環まあーるバスの運行ルートの検討
- ・萩循環まあーるバスの時刻表やバス停位置情報のオープンデータ化
- ・交通系 ICカードの導入支援

